会 議 記 録

会議名称	第84回杉並区環境清掃審議会	
日時	令和7年3月24日(月) 午前9時59分～午前11時24分	
場所	区役所第3・4委員会室(中棟5階)	
出席者	委員名	新谷会長、片石副会長、五十嵐委員、石原委員、大嶋委員、大川委員、大場委員、北澤委員、木村委員、鈴木委員、石田委員、福田委員、岸上委員、世戸委員、田村委員、安斉委員、大和田委員、 (17名)
	区側	環境部長、環境課長、ごみ減量対策課長、温暖化対策担当課長、杉並清掃事務所長、みどり施策担当課長、都市整備部管理課長、建築課長
傍聴者数	0名	
配付資料等	事前	杉並区気候区民会議の意見提案に対する対応等について 令和5(2023)年度区の事務事業における省エネルギー等の取組状況について 路面太陽光発電の試験導入における検証結果について プラスチック使用製品廃棄物分別回収の区内全域実施について 令和6年度家庭ごみ排出状況調査について 粗大ごみ処理手数料の電子決済サービスの導入について 大規模建築物等の報告 「みどりの基金」の運営状況について
	当日	次第 席次表 杉並区環境清掃審議会委員名簿 杉並区気候区民会議冊子
会議次第	議事内容 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 杉並区気候区民会議の意見提案に対する対応等について (2) 路面太陽光発電の試験導入における検証結果について (3) プラスチック使用製品廃棄物分別回収の区内全域実施について (4) 令和6年度家庭ごみ排出状況調査について (5) 粗大ごみ処理手数料の電子決済サービスの導入について (6) 大規模建築物等に関する報告について (7) 「みどりの基金」の運営状況について (8) 令和5(2023)年度区の事務事業における省エネルギー等の取組状況について (9) 杉並区環境白書について 	

<p>発言者</p>	<p>第84回環境清掃審議会発言要旨 令和7年3月24日（月）</p> <p>発言要旨</p>
<p>環境課長</p>	<p>それでは皆様、おはようございます。環境課長の近藤でございます。</p> <p>本日は年度末のお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、第84回杉並区環境清掃審議会を進めさせていただきます。</p> <p>まず、本日の委員の出席状況ですが、ただいま17名の出席をいただいております。定足数に達しておりますので、第84回杉並区環境清掃審議会は有効に成立をしております。</p> <p>なお、本日の傍聴者はございません。</p> <p>それでは、会長より開会宣言をお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいまから、第84回環境清掃審議会を開会いたします。</p> <p>皆様、ご多用の中、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日は報告が9件と多いですので、スムーズな議事進行を努めてまいりますので、皆様ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>環境課長</p>	<p>まず、それでは、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日、席上に、次第、それから席次表、それから杉並区環境清掃審議会委員名簿、こちらを配付させていただきます。</p> <p>次に、資料1、杉並区気候区民会議の意見提案に対する対応等について、資料2、令和5年度区の事務事業における省エネルギー等の取組状況について、資料3、路面太陽光発電の試験導入における検証結果について、資料4、プラスチック使用製品廃棄物分別回収の区内全域実施について、資料5、令和6年度家庭ごみ排出状況調査について、こちら冊子もございます。資料6、粗大ごみ処理手数料の電子決済サービスの導入について、資料7、大規模建築物等の報告について、それから資料8、「みどりの基金」の運営状況について、それから机上には、杉並区環境白書を青いファイルの中から取り出してご用意をさせていただきます。こちら報告で使用をいたします。それから、おなじみの青いファイル、こちらは法令や関係計画等がつづつてございます。必要に応じて活用をいただけるようお願いいたします。</p>

	<p>なお、先ほどの環境白書、それからこれらの青いファイルにつきましては、会議終了後、事務局で保管させていただきますので、お持ち帰りにならないようよろしくお願いいたします。</p> <p>それから、令和5年度から6年度にかけて取り組んでまいりました杉並区気候区民会議につきまして、冊子がまとまりましたので、審議会委員の皆様にご配付をさせていただきます。</p> <p>不足等がございましたら、お申出をお願いできますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>先ほど会長からもございましたけれども、本日、報告9件と少々多い状況でございます、効率的に審議会を運営していくため、関連する報告案件を二、三件ずつグループ化して報告させていただきたいと思います。具体的には、まず温暖化対策関連の報告、それからごみ関連の報告、次に都市整備関連の報告、最後に環境白書と省エネルギーの順に進めさせていただきたいと思います。</p> <p>それから、先般委員の皆様にはメールまたは紙ベースで資料の送付を行っておりますけれども、一部修正等ございますので、本日のものを資料としてご活用いただければと思います。</p> <p>最後に、本日の議事録、それから資料、こちらについては後日ホームページで公開いたします。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、早速議事に入らせていただきます。</p> <p>初めに、資料1の気候区民会議の意見提案に対する対応等について、そして資料3の路面太陽光発電の試験導入における検証結果について、温暖化対策担当課長からご説明をお願いいたします。</p>
温暖化対策担当課長	<p>温暖化対策担当課長の有坂です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、資料1「杉並区気候区民会議の意見提案に対する対応等について」と、資料3「路面太陽光発電の試験導入における検証結果について」ご報告いたします。</p> <p>まず、資料1、表紙をご覧ください。昨年3月から8月まで約半年間にわたりまして開催した杉並区気候区民会議から区へ意見提案が提出されました。</p> <p>1、気候区民会議の意見提案に対する対応方針等ですが、別紙をご覧ください</p>

い。気候区民会議からはエネルギー、循環型社会、みどり、交通の4つのテーマ別の2050年までに区の目指す姿やその実現に向けた取組等の意見提案を取りまとめ、区では気候危機対策推進本部等で対応方針を検討してまいりました。

まず、エネルギーでは目指すべき姿の実現に向けた対応方針といたしまして、区内の太陽光発電の普及、再エネの他自治体との連携による供給の検討、エネルギー利用の最適化に向けた効果的な情報発信をはじめとした環境整備を行ってまいります。

次に、循環型社会では目指すべき姿への対応方針として、循環システムを区民、事業者とともに構築し、ごみ排出量のさらなる抑制を進めるほか、ごみ発生状況やリサイクル情報を可視化した区民の環境意識を高めてまいります。

次に、みどりでは目指すべき姿への対応方針といたしまして、区民がみどりに愛着を持ち、考えながら、みどりの取組の実践を後押しする協働の仕組みづくりを行ってまいります。

次に、交通では目指すべき姿への対応方針として、移動したくなる仕掛けづくり・仕組みづくりとともに、車から自転車・公共交通への利用の転換や「杉並区産MaaS」を基軸とした取組等を進めてまいります。

令和7年度の主な対応は、いずれのテーマも記載のとおり進めてまいります。

なお、意見提案の区の対応の詳細については、区の公式ホームページでも公表してございます。

報告表紙にお戻りください。2、シンポジウムの開催ですが、2050年に向けた今後の社会の在り方等についてビジョンを共有し、ゼロカーボンシティ実現に向けて区民の意識醸成や行動変容を促すため、3月20日に西荻地域区民センターでシンポジウムを開催いたしました。気候区民会議の開催報告のほか、意見提案に対する区の対応等のご説明、ごみ清掃芸人として活躍されているマシンガンズ、滝沢秀一氏による講演等、記載の内容で実施をいたしまして、210名を超える方に参加していただきました。

続きまして、「路面太陽光発電の試験導入における検証結果について」ご報告いたします。

資料3表紙をご覧ください。令和5年12月に路面太陽光発電を杉並区役所前広場に試験導入いたしまして、導入から1年が経過したため、検証結果を取りまとめいたしました。

	<p>1、設備概要は記載のとおりでございます。</p> <p>2、設置・運用コストは、イニシャルコストが676万円で、東京都の助成金約300万円を活用いたしました。ランニングコストは初年度のみ33万円でございました。</p> <p>3、発電量の周知は、毎月の発電量を区のホームページや区役所内デジタルサイネージで周知を行うとともに、オンタイムの発電量を可視化するため、タブレットを設置いたしました。</p> <p>裏面の4、考察をご覧ください。(1)コストと年間発電量は1枚1キロワット当たり、屋根置き太陽光は26万円、1,000キロワットアワーに対して、路面太陽光は260万円、362キロワットアワーでした。</p> <p>(2)設備稼働率は記載のとおりです。</p> <p>5、検証結果と今後の方向性は、当初の予測発電量と同水準の発電量を得ることができました。屋根置き太陽光と比べると1キロワットアワー当たりの価格が約10倍、年間発電量は約3分の1程度、本庁舎屋上設置の太陽光パネルと比べると、設置稼働率は4分の1であり、費用対効果に課題があるとの結果となりました。</p> <p>今後は継続的な運用による発電量や耐久性の確認を行うとともに、独立電源による照明の点灯や再エネの普及啓発などに引き続き活用してまいります。</p> <p>また、屋根置き型設置が困難でしたり、または十分でない施設や駐車場などについてコストや面積など総合的に勘案し、必要に応じて導入の可能性を検討してまいります。</p> <p>私からの説明は以上となります。</p>
環 境 課 長	<p>補足でございます。</p> <p>お手元でございます「環境白書」をお出しいただけますでしょうか。</p> <p>こちらの10ページをお開きいただければと思います。先ほど温暖化対策課長からご説明を申し上げた路面太陽光というのは、こういったものでございます。区役所の南側の広場のところに設置しておりまして、先ほど説明の中にもあったとおり、屋根置き型の再エネ設備が乗せられないような場所、特に都心部である杉並区はそういったところが多ございますので、こういった形で再生可能エネルギーの発電を行えないかということの試験導入、これを行ったところでございます。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p>

A 委 員	<p>それでは、資料1の「杉並区気候区民会議の意見提案に対する対応等について」と、資料3の「路面太陽光発電の試験導入における検証結果について」、質問、確認しておきたい点などございますでしょうか。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>気候区民会議の意見提案に対する対応方針のところ、みどりのところの主な対応が7年度、ここに基準を超える緑化へのインセンティブの付与とか、あと区民施設のみどりを対象としたボランティア制度の創設を検討するとなつて、これって何か具体的なイメージはもう既にあるんでしょうか。</p>
みどり施策担当課長	<p>こちらについては、今日ご報告もいたしますけれども、建築行為などがある場合に緑化基準を設けていて、一定の緑化をしていただくようにはなっているんですが、それを超えてさらに緑化をするような場合に、その部分に対する補助金を出すですとか、あとは区民の方を緑化した部分についての維持管理についてボランティアとして携わってもらおうとかというようなところを今、検討しているような状況です。</p>
A 委 員	<p>ありがとうございました。</p>
会 長	<p>よろしく願いします。</p>
B 委 員	<p>二、三質問させていただきます。まず、路面太陽光発電の試験導入のことです。いろいろな数値が示されていましたが、私はメーカーの選定を含め費用対効果という観点からの検討が重要だと考えております。この件については今後も継続して試験されていくのだと思いますが、他の案件で電気自動車の活用について試験的に区の所有車106台のうち10台前後を導入していくという件もありました。こちらについても同様に考えておりますが、あらためて費用対効果という点とメーカーの選定を含めた考えをお聞かせください。</p> <p>それから、気候区民会議シンポジウムの際に、パネルトーク等々でいろいろ意見が出されました。非常に例えば例を挙げれば、緑被率を上げたいと、25%の目標に対してまだ21.7とか、その数字ですよね。それを黙って聞いていると、果たしてどうなるのかなと、そのままこうなった、こうなった、じゃ、これでまた来年も頑張ろうということになるのじゃ、ちょっとむなしいというか、寂しいなと思うので、実際にパネルトークとか、こういった区民会議シンポジウムで出された意見に対して具体的にどういう活動をしていくのか。例えばボランティアを募ろうとかいう話あるんですけども、具体的にどういうことをお考えなのかということを加えてご説明いただきたいと思います。よろし</p>

<p>温暖化対策担当課長</p>	<p>くお願いします。</p> <p>まず、メーカーの選定ですが、例えば路面太陽光発電につきましては、フランス産のもので、商用化されているものがこちらのものだけということでございましたので、それを選ばせていただいております。EV車につきましては、入札でしたりとか、公平性が担保できるような方法で導入をしているところではございます。シンポジウムに対する指標、緑被率のことなど様々ご質問いただいて、実際にご参加もいただきありがとうございます。今後、気候区民会議の意見提案に対する対応につきましては、組織横断的にいろんな課が関わっているところがございますので、区の気候危機対策推進本部でも随時、進捗状況を確認した上で、環境清掃審議会や、ホームページ等でも公表してまいりたいと考えているところです。</p>
<p>環境課長</p>	<p>すみません、若干補足をさせていただきます。</p> <p>先ほどシンポジウムの段階での指標のお話がありました。ご指摘のような点というのは、我々も非常に認識をしておるところでございます。そういった中で、環境問題というのは先ほど温暖化対策担当課長から申し上げたとおり、組織横断的に、例えば都市整備部門であったり、例えば教育であったり、子供であったり、当然環境もそうなんですけれども、いろんな部門にまたがっております。それから課題については、すぐできるものもあれば、中長期的な対応が必要になってくるものもある。区民の意識を醸成していくというようなものとか、多額のコストがかかるものとかいろいろございまして、直ちにこれをこうだというのはなかなか難しいところがございますので、その部分につきましてはご理解を頂戴できればと思います。</p>
<p>みどり施策担当課長</p>	<p>先ほど緑被率の話がありましたので、それについて補足で説明させていただきます。</p> <p>緑被率25%については、なかなか区民一人一人の方がいきなり緑被率25%と言われても、なかなかイメージがしづらいというところがありますので、例えばあなたのお家1棟に対して、このくらいの緑化の面積をさせていただくと、皆様のご協力の下、将来的には25%達成できますよというようなことで、それぞれのお家にどれくらいの緑被、緑地の面積が必要かというところをお示しできればなというふうに考えているような状況です。</p>
<p>環境部長</p>	<p>すみません、ちょっと補足を。</p> <p>路面太陽光の関係で事業者の選定をどうしているかというお話だったかと思</p>

<p>会長</p>	<p>いますが、担当課長のほうから商品化されているもの、フランス産のものを使っていますとお伝えいたしました。現時点で我々が把握している範囲では、商品化されているものは今のものしかないところもございますので、これを取り扱える事業者ということで限られてございますが、日本の事業者も今、いろいろ製作、検証等されていると聞いてございます。まだ商品化までいっていないようでございますが、今後商品化されていけば、当然おっしゃるとおり、価格の面もかなり違ってくるのかなというところもしっかり見てまいりたいと考えてございます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、次に移りたいと思います。</p> <p>次に、資料4、プラスチック使用製品廃棄物分別回収の区内全域実施について、それから資料5の令和6年度家庭ごみ排出状況調査について、ごみ減量対策課長から、そして3つ目が、資料6の粗大ごみ処理手数料の電子決済サービスの導入について、杉並清掃事務所長からお願いいたします。</p>
<p>ごみ減量対策課長</p>	<p>ごみ減量対策課長の坪川と申します。私から資料4と5についてご報告をいたします。</p> <p>初めに資料4「プラスチック使用製品廃棄物分別回収の区内全域実施について」でございます。</p> <p>上から概要ですけれども、令和4年4月施行の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」によりまして、プラスチック廃棄物の分別収集、再商品化等が自治体の努力義務とされております。区では昨年10月から大宮1・2丁目及び松庵2丁目において、これまでの容器包装プラに加えまして、新たに製品プラスチックの回収を行っております。杉並区の場合は容器包装プラ、もう何年も続けておりますので、特に排出者に大きな混乱はございませんでしたし、下記回収の実績からごみの減量につながるということ、及び車両ですとか中間処理施設の受入れ体制、こちらも見込めたということですので、令和8年度から区内全域での分別回収を実施することといたします。</p> <p>その下2番目が、プラスチック回収実績でございますが、昨年6年10月から開始なんですけれども、その翌月の11月にモデル実施地区を含め、区内8地域11地点において調査を実施しております。</p> <p>最初の表はモデル地区内のプラスチック回収量なんですけど、実施前後で比較</p>

をしてございまして、それぞれの地域とも実施後のほうが回収量が増えているということが分かります。

下の表は可燃ごみの中におけるプラスチックの混入率を見てございまして、モデル実施地区とその他の地区を比較してございまして、モデル実施地区のほうがその他の地区より低いということがこれで分かります。

まだ始まったばかりではありますが、さらに周知を進め、区内全域で実施をするということができれば、可燃ごみの減量が期待できるのかなというふうに考えてございまして。

最後が今後のスケジュールでして、7年9月以降に町会ですとか地域へ説明をいたしまして、年明け1月以降は広報ですとかホームページによる周知を行います。そして、4月からはプラスチック区内全域回収開始ということをご予定してございまして。

続いて資料5でございまして、「令和6年度の家庭ごみ排出状況調査について」です。

最初に調査概要(1)として調査目的ですが、家庭から排出されるごみ量及び性状等の調査を行い、今後のごみ減量リサイクル施策推進のための基礎資料とするということを目的としてございまして、先ほど資料4のほうでご説明しましたとおり、プラスチックの分別収集についての区内全域実施に当たる資料にもこちらを用いるということを目的としてございまして。

調査項目としましては4点ございまして、組成の分析調査、食品ロス調査、電池使用製品調査、それとプラスチックの調査ということとなっております。

調査対象規模は、下に記載した表のとおりでございまして。

調査時期は令和6年11月14日から27日までに行っております。

裏面へまいりまして、併せて「家庭ごみ排出状況調査報告書」もつけておりますが、全てお伝えすることはできませんので、要点を絞ってこちらのペーパーのほうでご説明いたします。

最初に組成分析ですけれども、可燃ごみなんですけれども、まず組成の割合、最も割合が多かったのは生ごみの27.07%、続いてプラスチック15.11%、紙類14.43%の順となっております。不燃ごみにつきましては、多かったのが陶磁器類、次いで金属製品、小型家電の順となっております。

続いて食品ロス調査ですが、可燃ごみのサンプルのうち、生ごみ、要は食品

廃棄物です、それを直接廃棄、手つかず食品、食べ残し、過剰除去等、調理くずに分類しまして、直接廃棄と食べ残しを食品ロスとして集計してございます。特に直接廃棄だけを集めますと、100%残存、要は手つかずということですので、それと50%以上、10%以上に分類して調査を行いました、その中でも100%残存というのが60%以上を占めるという高い数値となっております。

4番目は電池使用調査でございます。可燃ごみと不燃ごみの中の小型家電を対象に調査を行いました。電池を使用する製品は小型家電の中に48.54%、ほぼ半分ですが、残りは電池ではなくて、要はコンセントから電源を引っ張ってくるというものとなります。電池使用の中でも充電式電池と一次電池、要は乾電池です、その2つに分けておりまして、それぞれ電池の取り外しが可能なのかどうかを調べました。充電式電池については取り外しができるものは31.58%、一次電池、乾電池の使用製品では90.32%と、充電式電池使用製品の多くが電池の取り外しができない製品であるということが分かります。

最近、充電式電池による火災についてのニュースをよく聞きますので、今後その処理はもちろんなんですが、排出の方法について分かりやすくお伝えする必要があるのであるということを考えております。

最後はプラスチック調査ですが、先ほど資料4のほうでもご説明しましたが、10月よりモデル実施を開始しておりまして、そのモデル実施地区内で集めたプラのみの調査となっております。ですので、2行目以降、発泡トレイが2.74%、それ以外のプラスチック製容器包装81.05%、今回新たに加えた資源回収の対象となる製品プラスチック、こちらが7.1%となりまして、その主なものとしましては、ハンガーですとかクリアファイル、保存袋などがございました。

今後、全域実施に向け周知を進め、製品プラを含めたプラスチックの分別がさらに徹底されるよう、こちらもしっかり対応してまいりたいと思います。

目的としましては可燃ごみを減らしていくということが最終的な目的ということでございます。

私からは以上です。

杉並清掃事務所長

杉並清掃事務所長でございます。私から資料6の「粗大ごみ処理手数料の電子決済サービスの導入について」ご報告いたします。

1つ目の概要でございますけれども、粗大ごみ処理手数料の支払いは現在、コンビニエンスストア等で「有料粗大ごみ処理券」をご購入いただいていると

	<p>ころでございます。今後、申込みから支払いまでをオンライン上で完結できるように、インターネットでの申込みにおける処理手数料の支払い方法にクレジットカードなどの電子決済サービスを導入しまして、区民の皆様方の利便性の向上を図ってまいるといふものでございます。</p> <p>2つ目、サービス開始予定でございますけれども、令和7年10月を予定してございます。</p> <p>3つ目です。利用対象でございますが、杉並区粗大ごみ受付インターネット窓口から収集のお申込みをされる方となります。</p> <p>4つ目です。決済方法でございますが、クレジットカード及び二次元コードを予定してございます。</p> <p>5つ目、その他でございますけれども、電子決済サービスを利用した場合の粗大ごみの排出方法等につきましては、区公式ホームページ等を通じまして、分かりやすく丁寧な周知を行ってまいりたいと思っております。</p> <p>そして、最後です。現行の電話やファクスによる受付、コンビニエンスストア等で購入します「有料粗大ごみ処理券」も継続して実施してまいります。</p> <p>私からの報告は以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>それでは、3つでたくさんありますけれども、まず、プラスチック使用製品廃棄物分別回収の区内全域実施、それから令和6年度家庭ごみ排出状況調査、それから今のご説明の電子決済サービスの件に関しまして、ご質問をよろしくお願ひいたします。</p> <p>私から質問なんですけれども、電子決済サービスの場合、いつもだったらシールを買って貼るじゃないですか。そのシールに対応するものというのはいかようになるのでしょうか。</p>
杉並清掃事務所長	<p>今現在、他区であるとかほかの市区町村で入れているところの状況を見ますと、やはり整理番号とか申込番号を、お手数なんですけれども、お申込みいただいた区民または市民の方に記載していただいて、例えばたんすを出すような場合には、たんすに貼付をいただく、そういうのが今、一般的な形にはなっておりますので、その辺り情報収集して、できるだけお手間かけないような形でやりたいなというふうには考えております。</p>
会 長	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>ほかご質問いかがでしょうか。よろしくお願ひいたします。</p>

副 会 長	<p>今の資料6なんですけれども、決済方法の二次元コードでP a y P a y、 a u P a yを予定ということなんですけど、これはほかにもd払いとかあるんですけども、まだはっきり決まったわけではなくて、この2つということなんですでしょうか。</p>
杉並清掃事務所長	<p>現時点であくまでも予定なんですけれども、この2つは導入していくということで、現時点である程度調整がついてはおります。そのほかについては、まだ引き続き調整中というところでございます。</p>
副 会 長	<p>それぞれの支払方法で変わることはあるんですか、手数料とかその関係なんですか。</p>
杉並清掃事務所長	<p>おっしゃるとおりで、それぞれの支払方法で手数料等、金額が変わってくるので、その辺りも全体的に状況を見ながら、どういったものを使って入れていくのがいいのかなというのを検討しているところでございます。</p> <p>区民の方への影響はございませんので、区役所が収納代行の委託の関係での手数料の支払いがコードの会社によって変わってくる可能性があるということで、内部の話にはなります。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにかがででしょうか。</p> <p>それでは、次に移らせていただきたいと思います。</p> <p>次は資料7と資料8になりますけれども、大規模建築等に関する報告について、建築課長から、それから「みどりの基金」の運営状況について、みどり施策担当課長からお願いいたします。</p>
建 築 課 長	<p>建築課長、味山と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>私からは資料7の「大規模建築物の報告」をさせていただきたいと思ます。</p> <p>初めに、こちらは比較的大規模な計画となります延べ面積が3,000平方メートル以上の建築物、それから敷地面積が3,000平方メートル以上の敷地を持つ建築計画につきまして、前回の審議会以降に建築確認や緑化計画の届出があった案件の概要をご報告させていただくものです。</p> <p>初めに、資料7の1ページです。表の一番上に整理番号として1番とあります。この番号ごとに1件1件の案件を次のページからも示しております。分類は大規模建築物と緑化がございます。大規模建築物のほうは建築計画の概要、緑化のほうは敷地面積が3,000平方メートルを超える案件の緑化計画をお示し</p>

<p>みどり施策担当課長</p>	<p>ております。</p> <p>まず1番につきまして、宮前二丁目10番でございます有料老人ホームの概要でございます。面積や高さについて記載をしております、この表の中ほどに環境配慮事項を記載してございます。</p> <p>続きまして、2ページをご覧くださいまして、2番は区立の神明中学校改築工事、3番は高井戸西二丁目1番でございます共同住宅となっております。表記している項目は1番と共通で、それぞれ内容は記載のとおりでございます。</p> <p>次に3ページ、4番の建築物です。こちらは荻窪二丁目5番の共同住宅でございます。大規模建築物と緑化についてそれぞれ記載をしております。</p> <p>次に4ページです。5番が和田三丁目の共同住宅と物販店舗、6番が西荻北一丁目8番の共同住宅でございます。</p> <p>次に5ページです。7番が永福二丁目21番の共同住宅、8番が下井草一丁目5番の事務所・自動車修理工場・自動車駐車場でございます。</p> <p>なお、8番以降につきましては、緑化のみのご報告となります。</p> <p>次に6ページです。最後9番は宮前五丁目15番の有料老人ホームでございます。</p> <p>今回緑化のみご報告させていただきました8番と9番につきましては、建物のほうはまだ建築確認が下りてございませんので、建物の概要につきましては来年度の審議会でご報告をさせていただきます。</p> <p>最後に、図面が4枚ほどついてございます。こちらは先ほど緑化としてご報告いたしました4件の緑化計画図でございます。図面の右上に番号を1番、次のページは4番というふうに振っておりますが、それぞれ先ほどご説明しましたA4のほうの資料の一番上の整理番号を示しております。それぞれ植栽等の配置図を示しております、高木、低木などの位置を表したものになります。</p> <p>私からは以上です。</p> <p>みどり施策担当課長、石森です。私からは資料8についてご説明をさせていただきます。</p> <p>こちらの報告につきましては、杉並区「みどりの基金」条例及び「みどりの基金」運営要綱に基づいて、こちら環境清掃審議会のほうにご報告させていただくものになってございます。</p> <p>1、寄附の推移でございますけれども、みどりの保全・創出、区を代表する公園等の整備、この2種類の用途について令和6年12月末時点の寄附の収支状</p>
------------------	---

	<p>況を一覧にしております。</p> <p>みどりの保全・創出については、令和5年度の寄附が241万8,796円、支出が44万5,000円となっております。支出は保護樹木などに関わる賠償責任保険に充当しているものでございます。令和6年度につきましては、12月末の時点で109万6,643円の寄附がありまして、残高は2,707万6,155円となっております。</p> <p>区を代表する公園等の整備につきましては、令和5年度の寄附については456万8,175円、支出はございません。令和6年度は211万2,000円の寄附がありまして、残高は4,783万8,804円となっております。</p> <p>「みどりの基金」の合計残高は2つを足しまして、合計で7,491万4,959円となっております。</p> <p>続いて、裏面です。2番目として、寄附者が個人か個人以外かの分けと、寄附者が区内か区外かの分けを円グラフでお示したものとなっております。</p> <p>続いて3、基金の使途の状況です。こちらについては令和5年度につきましては、先ほどご説明いたしましたように、令和5年度については保護樹木等の賠償責任保険に充当している状況でございます。</p> <p>私からは以上でございます。</p> <p>会長 どうもありがとうございました。</p> <p> それでは、資料7の大規模建築等の報告、それから資料8の「みどりの基金」の運営状況について、ご意見、ご質問をよろしくお願いたします。</p> <p>C 委 員 すみません、資料の7についてお聞かせください。大規模建築物の話です。</p> <p> 認識不足だったら申し訳ないんですが、省エネについては各施設記載があるんですけど、省エネじゃなくて創エネ、いわゆるエネルギーをつくる視点、先ほど一番最初でしたっけ、何か路面に太陽光、費用対効果、これはまた別の場所でやらせていただきますけど、こんなものよりも、こういう大規模施設の屋根にそれこそ太陽光発電とか、そういったものをやったほうがよっぽど効率がいいと思うんですけども、そこの辺の視点、この資料に創エネのエネルギーをつくるという視点をやっているけれども、ただ記載がないだけなのか、それともそもそもこれだけの施設でエネルギーを生み出すチャンスがあるにもかかわらず、そういったことができていないのか、その辺りを確認させていただきます。</p> <p>建 築 課 長 ご質問の創エネにつきましては、現在把握できているもので、2番の神明中</p>
--	---

	<p>学校改築工事、こちらにつきましては区の施設ですので、太陽光発電を導入しているということが確認できております。そのほかのものにつきましては、現在の建築確認はほとんど民間の建築確認でございます、確認申請の確認が民間確認検査機関で下りた後に、区に提供される資料の中に、今、再エネを設置したのかどうかということがはっきり分かる資料が今のところないというようなところもありまして、創エネについて太陽光発電を導入しているのかどうかということが、今のところ把握できていない状況になっております。</p>
C 委 員	<p>ありがとうございました。</p> <p>じゃ、区が認識できていない、そこは難しいというところで、記載はないけれども創エネの視点を用いている施設はあるんじゃないかというふうなところなんです。先ほどの太陽光路面で費用対効果で課題があって、それこそ機運の醸成を図るためにやっていくんだなんていう話があったので、こういったところ伝わっているのかななんて心配になったものですから、お聞きしました。</p> <p>以上です。</p>
建 築 課 長	<p>来年度より建築物再生可能エネルギー利用促進区域を定めまして、その制度を始めますので、そちらの関係でも創エネ、太陽光発電を設置したかどうかということは建築確認の中で把握ができるようになる予定でございます。ですので、来年度からは報告させていただきます。</p>
温暖化対策担当課長	<p>1点補足させてください。</p> <p>東京都では2025年4月から延べ床面積2,000平方未満の中小規模の新築の建築物に太陽光のパネルの設置が義務化されますので、そういったことも含めて取組が加速化していくと考えているところですが、引き続き周知も努めてまいりたいと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。お願いします。</p>
B 委 員	<p>資料8の「杉並区みどりの基金」の運営状況についてというお話を聞いておりました、私の勉強不足かなと思ってちゅうちょしたんですけども、お聞きしたいんですが、「杉並区みどりの基金」というもの、これは私は普通「みどりの基金」、そういったものを募集する緑の羽根なんかを見ると、東京都農林水産振興財団ですか、それが東京緑化推進委員会という通称でやっていて「みどりの基金」を募集していますよね。この杉並区の「みどりの基金」というのは、こういった東京都農林水産振興財団とは別個で杉並区独自で運営されている</p>

みどり施策担当課長	<p>ものだったのか、いや、こういういわゆる東京緑化推進委員会と連携したものであったのか、その辺お聞かせ願えればと思うんですが。</p>
みどり施策担当課長	<p>今、お話があった緑の羽根募金とはまた別で、今回ご報告させていただいたのは杉並区として独自に条例をつくって行っているものとなります。</p>
B 委 員	<p>ということになると、我々杉並区民としては、この「杉並区みどりの基金」と並行して、緑の羽根とおっしゃったように、緑化推進委員会の「みどりの基金」というのにも参加するという、二重になっているということですね。</p>
みどり施策担当課長	<p>そうです。どういう選択をされるかというのはそれぞれの区民の方のお考えというところではあるんですけども、いわゆる寄附の申入れ先としては、杉並区としては「みどりの基金」ということで窓口を設けているというような状況になってございます。</p>
B 委 員	<p>ただ、杉並区としては東京緑化推進委員会の緑の羽根にも共同しているので、例えばいろいろな樹木診断等々を東京緑化推進委員会がやることに参加していますよね。そういうことでダブルで杉並区としては参加しているという認識でよろしいんですね。</p>
みどり施策担当課長	<p>そうですね、先ほど委員からお話がありましたところについても、杉並区としては関わりがございまして、どっちなしかやっていないというところではないというところです。</p>
B 委 員	<p>ありがとうございました。</p>
会 長	<p>そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。 それでは、次に移りたいと思います。 次に、資料2、令和5年度区の事務事業における省エネルギー等の取組状況について、温暖化対策担当課長から。あと杉並区環境白書について、環境課長からお願いいたします。</p>
温暖化対策担当課長	<p>資料2「令和5(2023)年度区の事務事業における省エネルギー等の取組状況について」ご報告させていただきます。 まず、1ページをご覧ください。1、対象とする施設・設備は、区が設置及び管理する区有施設です。詳細は記載のとおりです。 2、取組内容は、エネルギーの管理、排出量削減の対象とする温室効果ガス、環境配慮行動における管理項目です。 2ページをご覧ください。令和5年度の区立施設全体の温室効果ガス排出量は1万9,901トンCO2eqで平成12年度比19.9%の削減となりましたが、目標であ</p>

る50%の削減を2030年、令和12年度に達成するためには、令和5年度からさらに約38%の削減が必要となります。

3ページをご覧ください。エネルギー使用量の推移ですが、区立施設全体のエネルギー使用量は1万5,131キロリットル、平成12年度比で1.6%減となりました。

4ページをご覧ください。環境配慮行動における管理項目について、用紙類の使用量は区立施設全体で66万8,946キログラム、基準とする令和2年度比で18.5%減となりました。

一方、一般廃棄物の排出量は区立施設全体で374万7,093キログラム、基準とする令和2年度比で56.1%増となりました。

5ページをご覧ください。グリーン購入率について、区立施設全体では前年度よりは1ポイント増加しましたが83%となり、目標は未達成となりました。内訳といたしましては、区長部局では77%、学校そのほかの教育機関では94%でした。

グリーン購入率低下としては、古紙が市場に十分に行き渡らず、古紙配合の印刷用紙の確保が困難な状況であることが原因の一因となっております。なお、当面の間、印刷用紙については調達に支障が生じる場合は、グリーン購入法適合品の指定を行うことができる取扱いとしてございまして、仮に印刷用紙の調達を除いて計算すると、グリーン購入率は、区立施設全体で86%、区長部局79%、及び学校そのほかの教育機関では99%となります。

続きまして、6ページ以降の基本的取組の取組状況について主なものについてでございますが、エネルギーの削減はエレベーターの間引き運転や空調設定の変更等を行ってまいりました。前年度比で微増した理由でございますが、猛暑や厳冬の影響で、冷暖房を使用せざるを得ない期間が長くなったことが挙げられました。その一方で、施設別に見ますと、エネルギー効率の高い機器への空調設備の入替えによる都市ガスの使用量が、またフロアの照明をLED化したことで電気使用量が、それぞれ20%減少したケースもございました。職員一人一人の省エネ行動と併せて機器の入替え等のハード面の整備について順次進めていく必要があると考えてございます。

用紙類の削減について使用量が減少した課、施設では、ペーパーレスですとかタブレット教育の実施などによりまして、多くの施設等で昨年度と比べ、使用量が減少いたしました。紙の使用を精査するなど削減意識を定着させていく

ことが重要と考えてございます。

7ページをご覧ください。一般廃棄物の削減につきまして、前年度より大幅に増加した理由は、施設の移転や民営化、改修工事に伴った不用品の大量処分でございます。一方で、減少した所管では、マイボトルやエコバッグの持参などによるプラスチックごみ削減ですとか、リサイクルの徹底などが挙げられました。

8ページ下段の区立施設における維持管理の効率化をご覧ください。全体の電気使用量は約4,462万キロワットアワーで、そのうち太陽光自家発電量は約0.63%、再生可能エネルギー電気の調達量は約29%でした。今後も太陽光発電等の再エネ設備は区立施設の新築・改築時において、可能な限り導入拡大を進めていくとともに、LED化やZEB化などの推進、再エネ電力の活用についても引き続き取組を進めてまいります。

9ページをご覧ください。組織の主体性と責任ある取組について、各部・課の環境検査委員がエネルギー管理状況や環境配慮行動、環境法令の遵守状況を確認する自己検査や気候危機対策推進本部での分析など、部・課を単位とした確実な削減計画等の実施と課題の把握に努めております。

10ページをご覧ください。重点的取組の取組状況について主なものでは、区立施設の新築・改築時における省エネ化の推進でございます。令和7年度に完成を予定している下高井戸おおぞら公園管理棟は、区内公共施設初のフルZEB化を実現するため、その設計を行ってございました。また、全ての照明をLED照明に更新している区立施設は、令和5年10月現在55か所で、電気使用量が前年度比20%削減した所管もございました。

再生可能エネルギーの導入拡大では、改築した富士見丘小学校、杉並第二小学校では、太陽光発電機器と蓄電池を設置いたしまして、令和5年度末の区立施設の太陽光発電導入容量は約324キロワットとなりました。

11ページをご覧ください。区の施設への調達電力は一部で再エネ電力を導入するなど、環境に配慮した電力調達を行いました。調達した電力における再エネ電気の割合は29.37%となり、今後も順次拡大してまいります。

そのほか庁有車における次世代自動車への切替え推進では、庁有車3台を令和5年度に低公害車のHV車に切り替え、庁有車106台のうちEV車が5台、HV車が12台となりました。また、本庁舎に電気自動車の充電用コンセント8口を追加設置いたしました。

<p>環 境 課 長</p>	<p>私からの説明は以上となります。</p> <p>続きまして、環境白書につきまして、私からご説明を申し上げます。</p> <p>令和6年度の環境白書でございますけれども、資料編とともに10月29日開催の第83回審議会、こちらで席上にご配付をさせていただいております。</p> <p>じゃ、まずお手元に環境白書のほうをご用意いただければと思います。</p> <p>お開きをいただきまして、まず1ページをご覧ください。上段でございます。環境白書は環境基本条例第10条に基づきまして、区の環境に関する現状や今後の望ましい姿、達成すべき目標等を広く区民の皆様に分かりやすく伝えることを目的に、毎年度環境基本計画、地球温暖化対策実行計画、一般廃棄物処理基本計画などにつきまして、主に令和5年度の実績を中心とした進捗状況などを掲載し作成をしております。</p> <p>2ページをご覧ください。全体目標の「気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち」、これを実現するため、表記の5つの基本目標、こちらを定め目標達成のための具体的な施策と取組を掲げるとともに、基本目標ごとに指標と目標値を定め、以降3ページ、4ページには目標達成の取組一覧、5ページには地球温暖化対策実行計画を、6ページには一般廃棄物処理基本計画を掲げておるところでございます。</p> <p>7ページをご覧ください。ここからは基本目標ごとに紹介をさせていただきます。</p> <p>まず、基本目標1、気候危機によるリスクを低減する脱炭素のまちをつくるでは実現のための基本施策といたしまして、(1)地球温暖化防止を図る「緩和」の取組。それから、気候変動に適応する取組、こちら2点がございまして、8ページから10ページに目標達成に向けた主な取組として実施したものを紹介してございます。</p> <p>主なもので申し上げますと、再生可能エネルギー等導入助成、こちらでは、大変人気のある助成でございまして、本年度当初予算では足りなくて、補正で追加対応させていただいたところがございますが、それでも11月初旬には予算終了となるような大変好評な状況でございました。</p> <p>また、集合住宅等におけるLED照明機器切替え助成等のほか、省エネルギー行動を促進する「すぎなみエコチャレンジ事業」などの取組を行っております。10ページをお開きいただければと思うんですけれども、先ほどご報告申し上げました路面太陽光発電の試験導入、こちらも紹介してございます。</p>
----------------	---

次、11ページでございますが、11ページから14ページには基本目標1の個別事業の取組状況について、前年度と比較して掲載してございます。この中でも再生可能エネルギーと導入助成は年々利用が大幅に伸びている状況でございます。引き続き温室効果ガス排出量削減等の目標に向けて取り組んでまいります。

15ページをご覧ください。基本目標の2、資源を大切にすまちをつくるの基本施策として、ごみ・資源の発生抑制の推進、さらなる資源化の推進、ごみの排出マナーの向上と良好な集積所環境の確保、区民、事業者等との協働、多様な媒体を活用した啓発活動の充実がございます。

16ページから20ページに目標達成に向けた主な取組であるワンウェイプラスチック削減の取組、それから、資源化事業の推進、適切な排出指導と普及啓発、食品ロスの削減、ごみの発生抑制に向けた普及啓発の推進について掲載しております。この中でリユース食器、こちらの貸出しを開始いたしましたが、こちら大変好評でございまして、これは前年度の状況でございますけど、本年度令和6年度では34回のイベント等で活用されまして、利用者のほうから子供用の食器の貸出しをしてほしい旨のリクエストを複数いただいております。

21ページから23ページには、基本目標2の個別事業の取組状況について前年度と比較し掲載しておりますが、21ページ上段に掲載する食品ロスの削減、こちらでは「食べ残し0(ゼロ)応援店」、こちらの登録が増えている状況でございます。

24ページをご覧ください。基本目標3、自然環境が保全され、多様な生き物が生息できるまちをつくるの基本施策として、みどりの保全への取組、みどりの創出への取組、みどりの質向上への取組がございます。

目的達成に向けた主な取組として、みどりの基本計画改定に向けた検討を行ったほか、屋敷林・農地の維持管理支援、それから自然環境調査の実施などに取り組んでおります。

28ページから32ページには、基本目標の個別事業の取組状況について、前年度と比較して掲載しておりますが、雨水浸透や農業、それから区立施設、道路の緑化といった事業を掲載させていただいております。

33ページをご覧ください。こちら基本目標4、区民の健康と生活環境が守られる快適なまちをつくるの基本施策として、美しく清潔なまち

<p>会 長</p> <p>C 委 員</p>	<p>への取組、環境汚染リスクの管理がございました。</p> <p>34ページから36ページまでには、これらの目標達成に向けた主な取組として、路上喫煙対策、アスベスト飛散防止対策の強化等を行いました。</p> <p>37ページから42ページには、基本目標4の個別事業の取組状況について前年度と比較し掲載しております。</p> <p>43ページをご覧くださいと思います。こちらは基本目標5、誰もが環境問題や自然との共生について学び、一人ひとりが行動できるまちをつくるの基本施策として、環境教育、環境学習の取組、環境活動の協働の取組がございました。</p> <p>目標達成に向けて、小中学生環境サミットに向けた支援、気候区民会議の開催、清掃事業の出前環境学習などに取り組みました。</p> <p>47ページから49ページには、基本目標5の個別事業の取組状況について前年度と比較し掲載をしております。区民事業者、環境団体等の協力によりまして、区民一人一人が環境配慮行動を推進するきっかけとなるような講座、それから講演会を開催するなど環境意識のさらなる向上に向け取り組んでまいります。</p> <p>環境白書につきましては、今ご説明申し上げた本編のほか、統計数値などを記載した資料編もございますが、説明は省略させていただきます。</p> <p>なお、各指標等では既に目標達成しているものもございまして、更新が必要になっているものがございます。今後、区の総合計画、実行計画の改定に合わせ必要に応じて環境基本計画等の改定も検討してまいります。</p> <p>私からは以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、杉並区環境白書、それから令和5年度区の事務事業における省エネルギー等の取組状況についてに関しまして、ご意見とご質問をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>資料の2、4ページを指摘しないわけにはいかないと思っております。一般廃棄物の削減目標、令和2年度対比で削減ができるどころか5割もアップしてしまっているというふうなところ。これについての区の言い分というか、言い訳というか、7ページに書いてあります。お聞きしたいのは、園舎の移転や民営化施設の改修工事等に伴った不用品の大量処分とあるんですけど、これもしかして、言っていることは分かるんですけども、例えば使ってある机だとか</p>
-------------------------	--

<p>温暖化対策担当課長</p>	<p>椅子だとかいろいろなものをそのまま処分していないですよ。使えるものは当然リサイクルに回すべきだし、また、売払い収入というふうなところで収入も上げている部署も当然あるわけであって、そこの辺の視点が全くここでは読み取れないので、その辺りに関してはいかがでしょうか。</p>
<p>温暖化対策担当課長</p>	<p>そちらについては、やはりただ一般廃棄物を処分するというのではなく、委員おっしゃるとおり、使えるものは使う、収入になるものは収入にという視点は非常に大事かと思っております。区役所でもまだ使えるものについては、区役所内の通知ポートレットで、こういったものを使う課はありませんかという情報を共有して、なるべくごみにしないというような取組を行っておりますので、令和5年度増えてはしまいましたが、そういった視点を引き続き持つて対応はしていきたいと考えているところです。</p>
<p>C 委 員</p>	<p>視点を持つのは大事なんだけど、じゃ、それで実際に数字で成果が上がっているという認識でよろしいのかしら。</p>
<p>温暖化対策担当課長</p>	<p>令和5年度につきましてはこういった実績でしたが、令和6年度についても引き続き取組をしているところですので、また取組結果をご説明はさせていただきたいと考えております。</p>
<p>C 委 員</p>	<p>あとこの部分でもう一点だけ。繰り返しますが、これだと外的要因というか、たまたまこの年に関してはそういった施設の改修が多かったとか、職員の増加が増えちゃったんですよとか、たまたまこの年だけ運が悪かったというふうにはしか見えないんだけど、例えばその下に書いてある、一方で減少した所管ではというふうなことちゃんちゃらんちゃらと書いてあるんですけど、ここに光を見いださなくちゃいけないと思っていて、こうやって頑張られた成果を上げた所管さんというのは、全体のうちの大体何割ぐらいなんでしょうか。</p>
<p>温暖化対策担当課長</p>	<p>成果を上げた所管の割合というのは今、手元で数字はすぐには……</p>
<p>C 委 員</p>	<p>肌感覚で結構です。</p>
<p>温暖化対策担当課長</p>	<p>肌感覚ですが、半数以上は何かしら成果は上げていると考えております。</p>
<p>C 委 員</p>	<p>はい、じゃ、半数以上は成果を上げているということなので、それがもっと伸びるように頑張ってください。</p>
	<p>あと環境白書もせっかくなので1点だけ聞いておきましょうか。ごめんなさい、すごくシンプルで16ページのリユース食器の貸出し、先ほど今年度に関しては34イベント。これはすごく地域でもよく見かけましたし、すごく環境課長さんもおっしゃっていましたが、評判がすごくよかった取組だというふう</p>

	<p>評価しております。ただ、ここで1点やっぱり確認をしなくちゃいけないのが費用対効果でして、まず、ごみが減ったのはよく分かるんだけど、費用ってどのくらいかけてやっていらっしゃるんですか。</p>
<p>温暖化対策担当課長</p>	<p>費用は、少しお待ちください。</p> <p>正確な数字は後で申し上げますが、600万円ぐらいで、東京都の補助金も半分程度出ており活用はさせていただいているところです。委託費だったかと思うのですが、詳細は、少々お待ちください。</p>
<p>環境課長</p>	<p>補足です。</p> <p>リユース容器の事業につきましては、確かに委員おっしゃるとおり、費用対効果という面で見たとときどうなのかという問題というのは、常に事業を計画する中でもつきまとしておりました。ただ、区の今の現状のプラスチックごみを減らしていこうと。取り分けワンウェイプラスチック、使ったら捨てて、使ったら捨ててという、いわゆる生活サイクルを改善をしていく、これがやっぱり必要であり、区民の意識の醸成を図っていくことが我々の最大の課題だと思っております。それを今、草の根のイベントの中から一生懸命それをやらせていただいているというところでご理解をいただければと思います。</p>
<p>C 委 員</p>	<p>じゃ、答えが出るまでお付き合いで、否定はするつもり全くなくて、すごくいい取組だと思っているんです、冒頭申し上げたとおり。実際にそのイベントでいらっしゃった方、関係者だけじゃなくてイベントに参加された方なんか、ああ、すごいね、さすが区長さん替わって環境に力を入れる杉並区になったんだねなんてすごくいい話を聞いていて、それはすばらしい話だと思うんですけども、それならそれで、やっぱり目に見える形で目標、確かに今おっしゃられたとおりに使い捨てのごみなんかは著しく減ったんでしょう。でも、それでいいね、機運の醸成もいいんだが、実際にどのぐらいの目標で、だって600万だか何だかって委託費分かりませんが、それは税金でやっているわけなので、某民間会社で例えばダイエットの会社があったとしても、そこで何十万もかけて、あなたの体重、1か月で何 kilogram 減りますよみたいな、そうやって目標、お金を使っているわけですから、税金で。少なくとも目に見える形で成果指標というのは絶対示さないと、それは意気込みはよく分かるんだけど、やっぱり行政の仕事ってそういうものじゃないと思うので、その辺りについてはいかがでしょうか。</p>
<p>環境課長</p>	<p>ご指摘の点、そのとおりだと思います。なかなか成果の指標を端的に表すよ</p>

	<p>うな指標の設定というのは若干難しい部分はあるんですが、例えばアンケート調査とか、そういったところを駆使しながら何かしらやっていかなければいけないと我々も思っておるところでございます。</p> <p>それで、このリユース、今年度スタートしました。その中で先ほど私のほうから申し上げたとおり、いろんなご意見をいただいております。今度はその意見も捉えながら、いわゆる意識、区民の意識の変化について、それを成果としていきたいなというふうに考えています。</p>
<p>温暖化対策担当課長</p>	<p>失礼いたしました。</p> <p>予算でご説明します。令和6年度リユースに係る事業委託費550万円、食器をつくる需用費180万円で、東京都の補助金が2分の1程度見込める形となっております。</p>
<p>C 委 員</p>	<p>ということは、イニシャルコスト、ランニングコストとあるんですけども、来年度以降も続けていくんでしょうから、委託費ということで少なくとも毎年度毎年度、委託費550万はかかっていくというふうな理解でよろしいですか。</p>
<p>温暖化対策担当課長</p>	<p>そのような理解になります。</p>
<p>C 委 員</p>	<p>それでしたら、やっぱりせっかくいいことをされているので、目に見える形で意気込みもよろしいし、皆さんの意識では高まったよでもいいんだけど、目に見える形で見える化できるとすごくいいですね。これは思わせていただいたことをお伝えさせていただきました。</p> <p>以上です。</p>
<p>会 長</p>	<p>どうもありがとうございます。</p>
	<p>よろしく申し上げます。</p>
<p>D 委 員</p>	<p>区の事務事業における省エネ等の取組状況のほうです。資料2の4、5ページに、私だけなのでしょうか、知らない言葉、区長部局という言葉、これは区で使ういろんなものですか。お願いします。</p>
<p>温暖化対策担当課長</p>	<p>区長部局とは、教育委員会など行政部局でございますので、それを除くものが区長部局になりますので、環境部とか総務部とかいろんな部がございますので、そちらをまとめて区長部局です。</p>
<p>D 委 員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それから、先ほどのリユース食器の件なんですけど、私たち衛生面も考えているんです。これ例えば真夏の暑いときのイベントに、このリユース食器を借</p>

温暖化対策担当課長	りて即終わったら業者が来るんですか、取りに、引き取りに。
D 委 員	こちらについては、終わったらまず宅配便で委託業者に返送していただきます。そこで、衛生基準に沿った高压洗浄や検査をしまして、衛生管理の行き届いた場所で保管をして繰り返し使うという流れになってございます。
温暖化対策担当課長	そうすると、条件はあるんですか、終わった食器は即送ってくださいという。二、三日もたったら虫が湧いてしまって衛生的にすごく不衛生じゃないかなと思っているんですけど。
D 委 員	即というわけではないのですが、手引に何日前に借りて、いつまでに返すと詳細は書かせていただいています。仮に翌日返していただいたとしても、高压洗浄して検査状態も確認はしてございますので、問題ないかと考えてございます。
温暖化対策担当課長	宅配で送るわけですね。その送り賃というのもやっぱり区が負担するの。
D 委 員	委託費の中に食器の配送や集荷に関わる費用については含まれており、それは区の負担として、試行実施の中でやらせていただいているところでございます。
会 長	ありがとうございます。 よろしく願いいたします。
E 委 員	リユース食器の貸出しについてお伺いしたいと思います。これは以前、「すぎなみ環境ネットワーク」というところで同じような事業をされていたと思いますが、これは今の今年度からリユース事業を始めたというお話、新区長になってからということでございますけれども、前の「すぎなみ環境ネットワーク」で行われていた事業とどのように違うのか、簡単でいいのでご説明いただければと思います。
温暖化対策担当課長	以前は、NPO法人の「すぎなみ環境ネットワーク」でディッシュ・リユース・システム事業を実施しておりました。その場で洗浄をして繰り返し使うようなかたちで、多くのイベントで利用いただいております。コロナ禍を機にイベント数が減って、そちらの事業は終了となったところです。
温暖化対策担当課長	新たに始めたリユース容器活用事業ですが、こちらは先ほどお話をさせていただきましたが、区がまず食器をつくり、その食器を事業委託で保管をし、それをイベントの際に運搬をして、そのイベントで活用後、返却していただいて繰り返し使うといった流れになっております。広く誰でも参加ができるイベントについて、ごみの削減とか循環型社会の観点から新たに事業を始めたところ

	<p>でございます。</p> <p>以前との比較を簡単に申しますと、保管方法や、運搬方法といったスキームが若干異なりますが、理念としては同じかと考えてございます。</p>
E 委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>お願いいたします。</p>
F 委員	<p>1点確認したいんですけども、こちらの区の事務事業における省エネルギーなどの取組状況の6ページ、こちらで用紙類の削減、またその前にエネルギーの削減ということで書かれていまして、この審議会は環境清掃審議会ということで、環境に配慮をするために審議会の委員の方が集められていまして、私、非常に感心を最初していたのは、今回PDFで事前に資料を送っていただいて非常にいい取組だと思ったんです。今日、私、自前のパソコン持ってきて、当然資料はないのかなと思ったので、来たら、ふんだんに印刷物があって、何だこれはという思いです。情報弱者、そういうパソコンとか使い慣れない方がこの審議会にも参加されているとも思いますし、そういうものも使える方も参加しているというところで、基本的にはこれからデジタル化というのが当たり前に進めていかなきゃいけない話ですし、デジタル化を進めれば当然、紙の削減とか、印刷してはいますがインクを使わないとか、環境に優しくなるのかなというふうに思っています。</p> <p>区には様々な審議会とか会議体があるわけで、それらの紙を削減をしたら、かなり膨大な紙の削減につながると思います。私、一気にやれとは言わないんですけども、せめて環境清掃審議会ぐらいはそういうことを試行してもらって、緩やかで結構ですので、エネルギーの削減への寄与というのを少しやってみる必要があるのかなと思います。当然私用のパソコンを持っていない、タブレットを持っていない方もいるので、例えば区の予算のほうで、当日に使うレンタルのタブレットだったりとかパソコンを用意して、また、スクリーンを用意してもらって資料を投影してもらったりとかして、いろんな方法でやれば一定程度紙の削減というのはできるのではないかないうふうにとしますので、その辺、今回提起されていないですけど、こんなのはすぐできる話だと思いますので、ぜひ環境清掃審議会から始めていただいて、一定程度検証等して、ほかの審議会、またはほかの区が開催する会議体において、できる限りペーパーレスというのをやるべきだというふうに思うんですけど、旗振り役は環境課さんなので、その辺お考えを聞かせていただきたい。どうでしょうか。</p>

環境課長	<p>ご指摘もっともでございます、私どもも同じことを今、考えてございます。この環境清掃審議会の資料につきまして、メールでお送りを始めたのも、つつい最近のお話でございます。その延長線上にあるのは、今、委員からご指摘のあった紙を少しでも減らすと、そういう資源を大事にするという思いでございますので、ご指摘のようなパソコンのレンタルとか、それから当日モニターで投影するとか、そういった方法も多岐にわたって考えつつ、紙がなくなるように取り組んでまいりたいと。これは検討してまいります。</p>
F 委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>私、議員なので、環境課さんだけがこれをやろうと思っても、ほかの部署が面倒くさいとか、何でそんなことやらなきゃいけないんだという、多分抵抗勢力の部署がある可能性もあるので、これは経営層に上げていただいて、環境を大切にする区長さんですから、そういうことである程度トップダウンも含めて、そういうような効率的な運営をしていただきたいというふうに重ねて要望です。</p> <p>以上です。</p>
会長	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。お願いします。</p>
A 委員	<p>太陽光発電の話が出ていたんですけども、私も知識不足ですが、窓の要するに太陽光発電とか、今、商品化になっているかどうか勉強不足で知らないんですけども、そういうのも最近大分取り沙汰されていまして、その辺の検討とかも検討途上にあるのか、あるいはほかにも要するにそういう発電の検討というのはあるのか、ないのか、その辺をお聞きしたいんですけど。</p>
温暖化対策担当課長	<p>窓に貼る太陽光、ペロブスカイト発電と申しまして、ぺらぺらの薄いものでかなり技術が進んでおり、国や都も力を入れて研究等に予算をつけているところでございますので、そちらの動向も見ながら、商用化されたり広く使えるようになったら積極的に使っていきたいとは考えてございます。</p>
環境課長	<p>補足です。</p> <p>一部商用化がされ始めているというような状況と聞いております。その上で、非常に軽くいろんな建材とかに組み合わせながら使えるようになってきたと言われる一方で、耐久性に問題があるとか、そのようなお話を今、聞いておるところでございます。先ほど温暖化対策担当課長が申し上げたとおり、今後の商品が広く普及していくのかどうなのかと、そういったところを今、見さ</p>

<p>会 長</p>	<p>せていただいているという状況でございます。</p> <p>どうもありがとうございます。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、全体を通して質問や確認しておきたい点などはございますでしょうか。お願いいたします。</p>
<p>D 委 員</p>	<p>今の続きなんですけれど、やたらと太陽光発電、太陽光発電と言いますけど、代替エネルギー、ほかにもいろいろとあると思うんですが、例えばこの間、課長さんにお話しした地中熱エネルギーの発電、これはまだまだ駄目ですかね。</p>
<p>温暖化対策担当課長</p>	<p>再生可能エネルギー、おっしゃるとおり地中熱、風力、水力ですとか、いろんなものがあるかと思うのですが、そういった技術の進歩を私どもも確認をしながら進めていきたいと思っております。</p>
<p>会 長</p>	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは、ほかに質問等がなければ、本日の議題は以上となります。</p> <p>事務局から連絡事項等がありますでしょうか。</p>
<p>環 境 課 長</p>	<p>長時間にわたりありがとうございます。</p> <p>次回の審議会でございますが、案件の内容であるとか、ほかのスケジュールとかございますので、次年度秋頃をめどに開催を調整させていただきたいと考えております。よろしく申し上げます。</p> <p>なお、環境白書につきましては、繰り返しになって大変恐縮ですが、青いファイルに後で事務局のほうでつづりますので、そのまま置いておいていただきますようお願い申し上げます。</p> <p>私からは以上です。</p>
<p>会 長</p>	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>それでは、第84回杉並区環境清掃審議会を閉会いたします。</p> <p>皆様、お疲れさまでした。気をつけてお帰りください。</p>